

Environmental Activity Report

環境活動レポート

～環境への恩返し～

期間：平成27年9月～平成28年8月



生物多様な里山の原風景



®環境省
エコアクション21
認証番号 0006956

廣間組 有限会社
発行：平成28年9月1日

目次

■ 目次	p.1	■ 環境目標(中長期目標)とその実績	p.6~7
■ ご挨拶	p.2	■ 環境活動計画の内容・取組み結果の評価	p.8~22
■ 取組みの対象組織・活動	p.3	■ 環境関連法規制等取りまとめ表	p.23
■ 環境方針	p.4	■ 代表者による全体評価と見直しの結果	p.24
■ 環境経営システム実施体制図	p.5	■ おわりに	p.25

ご挨拶

弊社廣間組有限会社は、徳島県南部的那賀川上流に位置する那賀町木頭（旧木頭村）に所在しております。ここ木頭は徳島と高知の県境でもあり、四季折々の自然環境に恵まれたとても美しい所で、全国に誇る歴史と様々な伝統があります。そして弊社は、ここ木頭で創業より公共土木工事に携わり、林道開設や予防治山、国道整備や災害復旧など、地域のライフラインを担う大変重要な仕事をさせて頂いておりましたが、近年の不景気の波は弊社にも等しく訪れました。「このままではいけない、何かを変えなければならない」そのような思いの中、これまで弊社を育ててくれた地域や環境、自然を見るにつれ、環境豊かなこの地で生きる自分達だからこそのできる事は何か、やらなければならない事は何か、そんな事を考えるようになりました。



そんな中、EA21地域事務局のグリーン化プログラムに参加した事がきっかけで、エコアクション21の『環境経営』という考え方に強く共感を覚え、この『環境経営』こそが、今後の弊社の、そして地域の大きな魅力になると考え、平成23年5月の認証・登録から今日まで環境経営を推進して参りました。その結果、第17回、第19回の環境コミュニケーション大賞において、全国に名だたる優良企業の皆様とともに、『環境活動レポート部門優秀賞』を受賞する事ができました。また、第17回の受賞は徳島県勢として初めての栄誉であるとともに、2度に渡る栄誉は、弊社の活動を更に推進・発展させる大きな力となっております。これにより、平成27年度から『山櫻プロジェクト』という新規事業を立ち上げ、エコアクション21において三大テーマともいえる、（生物多様性）（低炭素化社会）（循環型社会）の実現を弊社なりに推進させていく活動を始める事ができました。プロジェクトはまだ始まったばかりですが確実に実績と成果が上がってきております。弊社は地方の中小企業に過ぎませんが、企業の大小や活動の大小に捉われず、出来る事や小さな事からコツコツと、継続し発展させていく事が地方企業の環境経営において最も大切な事であると考えております。今後も地方の建設業界は厳しい見通しではありますが、社員一丸となり環境経営に尽力致したい所存でございます。以上簡単ではございますが、ごあいさつとかえさせていただきます。

廣間組有限会社 代表取締役 西田静男

取組の対象組織・活動

■組織の概要

名称及び代表者名

廣間組有限会社 代表取締役社長 西田 静男

環境管理責任者及び担当者

【環境管理責任者】西田 靖人 [mail] y-n@hiromagumi.co.jp
【環境事務局】松本 恭典 [mail] y-m@hiromagumi.co.jp

事業内容

【特定建設業】土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、
水道施設工事業、しゅんせつ工事業
【一般建設業】建築工事業、管工事業

事業規模

操業	昭和33年11月22日	設立	昭和47年 2月 2日
資本金	3500万円	完工高	27008万円
従業員数	18名	事業所床面積	70m2

事業年度

9月～8月

当社は、産業廃棄物収集運搬業許可（有効期間：平成 26 年 11 月 12 日～平成 31 年 10 月 28 日）を有しているが、平成 27 年度分においては、この事業実績はありませんでした。この為、現状ではこの業については、EA21 認証・登録の対象外となっております。

所在地

【本社事務所】

〒771-6402

徳島県那賀郡那賀町木頭出原字佃ノ辻28-1

〔TEL〕 0884-68-2320 〔FAX〕 0884-68-2014

〔mail〕 hiromagumi@tk2.nmt.ne.jp

〔HP〕 <http://www.hiromagumi.co.jp>

【栩谷事務所】

〒771-6511 徳島県那賀町木頭折宇字栩谷口2-1

【栩谷倉庫】

〒771-6511 徳島県那賀町木頭折宇字栩谷51-2



環境方針

□ 基本理念 –philosophy–

廣間組有限会社は、当社の事業活動に伴う地球環境への負荷に対し正しい知識を備え、これを最大限に活かす意識と知恵を持って、主体的な削減活動に取り組み、持続可能な環境経営システムを構築する事で、生活環境や生物多様性の保全、地球環境との共生文化を次世代へ継承し、強く美しい日本社会の実現、さらには国際社会全体に於て地球環境問題に貢献します。

□ 行動指針 –Standards of Conduct–

- 一. 私達は、常に基本理念に基づき行動し、基本方針に沿った事業活動を行います
- 二. 私達は、常に地域社会の一員である事を自覚し、一人々が責任を持った行動をします
- 三. 私達は、常に学び向上し、時代に通用する人財の育成と自己開発に努めます
- 四. 私達は、常に事業活動の改善を心掛け、より良い環境経営を目指します
- 五. 私達は、常に個人を尊重し、他者に敬意を払い、謙虚な姿勢で仕事に取り組みます

□ 基本方針 –basic policy–

1. 当社の事業活動及び製品・サービスに関わる地球環境への負荷と影響を常時認識し、社員全員で環境経営に取り組み、生活環境や生物多様性の保全、地球環境への負荷を削減する事に努めます。
2. 当社の事業活動及び製品・サービスに関わる環境関連の法令、徳島県条例、那賀町条例、その他法規を遵守します。
3. 当社の事業活動及び製品・サービスに関わる環境影響について、以下の項目を環境管理重点テーマとして掲げ、この削減及び低減に取り組みます。
 - ①二酸化炭素排出量
(電力使用量、ガソリン、軽油、灯油等石油系燃料使用量の削減)
 - ②水資源使用量(排水量)の削減
 - ③廃棄物の削減及びリサイクルの推進
 - ④事務所紙資源の削減及びリサイクルの推進
 - ⑤事務所周辺の清掃及び地域貢献活動(ボランティア)の推進
 - ⑥グリーン購入の推進
 - ⑦環境配慮商品・サービスの提供並びに施工の推進

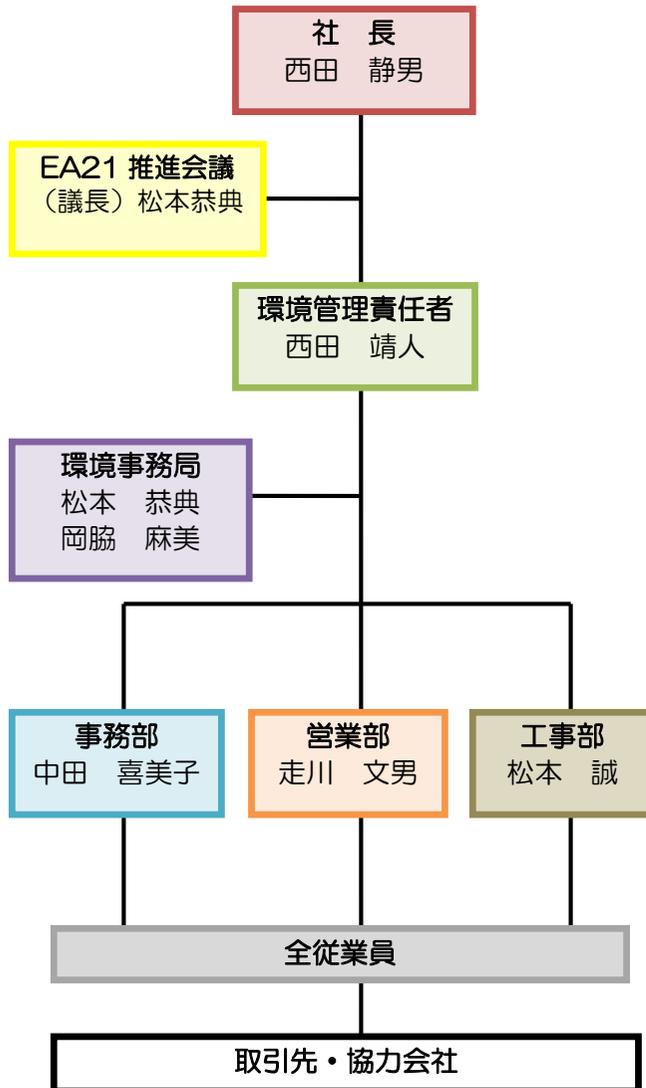
上記の方針達成と環境経営活動を推進する為に、確固たるビジョンを含めたV-PDCAサイクルによるスパイラルアップを仕組み付け、激変する社会ニーズや地球環境に対し、柔軟かつ迅速に対応する事のできる環境経営システムを構築し、これを維持発展させ続けます。
また、本環境方針は全従業員及び取引先に周知すると共に環境活動レポート等で社外へも公表致します。

制定日: 平成 22 年 8 月 31 日

廣間組有限会社

代表取締役社長 西田 静 男

環境経営システム実施体制図



役職	氏名	役割・責任・権限
社長	西田 静男	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 EMS の実施及び管理に必要な人、設備、費用、時間能技術者を用意 環境管理責任者を任命 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標の設定を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施
EA21 推進会議	(議長) 松本 恭典	<ul style="list-style-type: none"> EA21 推進会議を開催し、管理・運営を行う 内外部とのコミュニケーションを組織で共有し、EMS のスパイラルアップの定着化を推進 EA21 推進会議記録の作成と周知および保管
環境管理責任者	西田 靖人	<ul style="list-style-type: none"> EMS を構築し、実施および管理を行う 法規制等の要求事項登録簿を承認、及び遵守チェック 環境活動実施計画書を承認 環境活動の取組結果を代表者へ報告
環境事務局	松本 恭典 岡脇 麻美	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 「環境関連法規等チェックリスト」の作成、及び遵守チェック 環境目標・環境活動実施計画書原案の作成 環境活動実施計画の実績集計 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
部門長	(事務部) 中田 喜美子	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における EMS の実施 自部門における環境方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の手順書作成及び運用管理 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成及びテスト・訓練・記録 自部門の問題点の発見、是正、予防処置
	(営業部) 走川 文男	
	(工事部) 松本 誠	
全従業員	各自	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

環境目標〈中長期目標〉とその実績〈平成26年9月～平成27年8月〉

事務所

項目	単位	平成21年度 実績 (H21.9～H22.8)	平成27年度 目標 (6%削減)	H27実績	H27達成率	平成28年度 目標 (7%削減)	平成29年度 目標 (8%削減)	平成30年度 目標 (9%削減)
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2/年	43989.5	41350.1	33448.6	123.6	40910.2	40470.3	40030.4
2. 電力使用量の削減	MJ/年	123484.5	116075.4	84429.9	137.5	114840.6	113605.7	112370.9
3. 燃料使用量の削減	MJ/年	584569.9	549495.7	407990.4	134.7	543650.0	537804.3	531958.6
4. 水資源使用量の削減	m3/年	178.0	167.3	159.0	105.2	165.5	163.8	162.0
5. 一般廃棄物の削減	t/年	18.6	17.5	15.6	112.2	17.3	17.1	16.9
6. 事務所紙使用量の削減	枚/年	41688.0	39186.7	34759.0	112.7	38769.8	38352.3	37936.1
7. 事務所周辺の清掃及び 地域貢献活動の推進	回/年	4.0	50.0	51.0	102.0	50.0	50.0	50.0
8. グリーン購入の推進	品/年	2.0	8.0	27.0	337.5	9.0	10.0	11.0

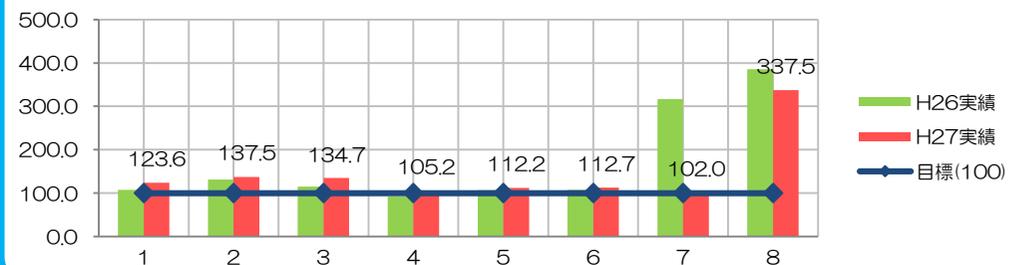
※ 項目 1～6 については、平成 21 年度の実績を基準とし、その実績から 27 年度までに 6%、28 年度までに 7%、29 年度までに 8%、30 年度までに 9%の削減を目標とする。

※ 電力の CO2 換算係数として 0.706kg-CO2/kWh を用いた。

【上記目標に対する評価・総括】

前年度は水使用量のみ僅かに目標達成に至りませんでした。今年度は全項目において目標を達成する事ができました。
また、清掃や社会貢献活動は、今年度から目標値を大幅に上方修正したにも関わらず、目標を達成する事ができました。

H27年度 事務所 達成率 (%)



現 場

項 目	単 位	平成 21 年度 実 績 (H21.9~H22.8)	平成 27 年度 目 標 (6%削減)	H27 実績	H27 達成率	平成 28 年度 目 標 (7%削減)	平成 29 年度 目 標 (8%削減)	平成 30 年度 目 標 (9%削減)
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2/年	272998.7	256618.8	175663.8	146.1	253888.8	251158.8	248428.8
2. 燃料使用量の削減	MJ/年	3997355.6	3757514.3	2562657.4	146.6	3717540.7	3677567.2	3677567.2
3. 産業廃棄物の削減 (リサイクル率の向上)	%/年	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
4. 事務所周辺の清掃及び 地域貢献活動の推進	回/年	4.0	53.0	53.0	100.0	53.0	53.0	53.0
5. 環境配慮商品・サービスの 提供並びに施工の推進	件/年	12.0	12.0	13.0	108.3	12.0	12.0	12.0

※ 項目 1~2 については、平成 21 年度の実績を基準とし、その実績から 27 年度までに 6%、28 年度までに 7%、29 年度までに 8%、30 年度までに 9%の削減を目標とする。

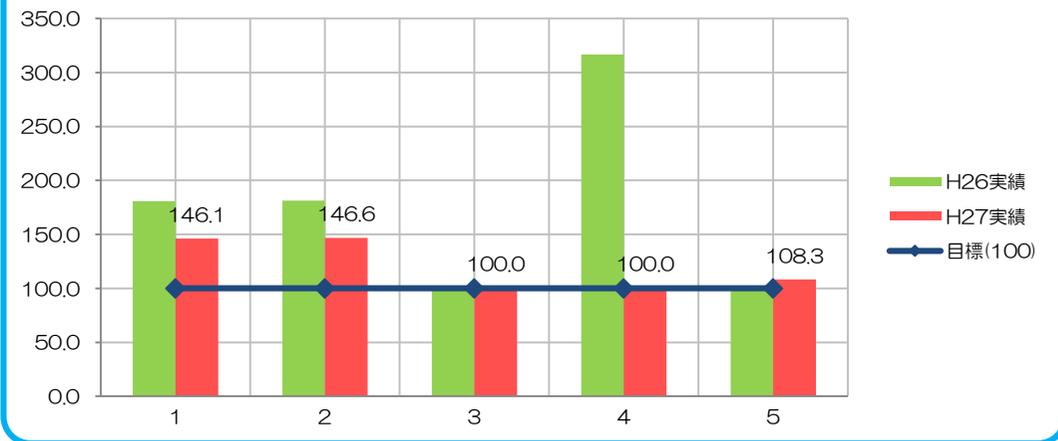
※ 現場においては、電気および水（上水）の使用および文具の調達無し。

【上記目標に対する評価・総括】

前年度に引き続き、全項目において目標達成する事ができました。現場は、工事高や工事内容、施工方法や使用機械によって、二酸化炭素の排出量や燃料の使用量が大きく変わるので、施工前の計画や施工中の推移に十分注意しながら、今後も目標達成に向けて全従業員で取り組んでいきたいです。

また、清掃や社会貢献活動は、事務所同様に今年度から目標値を大幅に上方修正したにも関わらず、目標を達成する事ができました。

H27年度 現場 達成率 (%)



環境活動計画の内容・取組結果の評価

■ 燃料使用量の削減

環境活動計画の取組み項目	事務所	現場
① 社有車の低排出ガス車への転換	○	／
② エコドライブ10の実施	○	○
③ 通勤車両・重機車両の日常整備点検	○	○
④ 受注工事で排出ガス対策型の重機・機械を使用	／	○
⑤ 現場への乗り合わせ	○	○

○…取組みを行えた ×…取組みを行えていない /…該当しない

① 社有車の低排出ガス車への転換



今年度も社有車のうち1台を低排出ガス車に買い換えました。

② エコドライブ10の実施



全社有車にエコドライブ10のすずめを貼付して、啓発を行っています。

③ 通勤車両・重機車両の日常整備点検



④ 受注工事で排出ガス対策型の重機・機械を使用



事務所 3年間推移グラフ MJ/年



達成

昨年度より 15%削減↓

現場 3年間推移グラフ MJ/年



達成

昨年度より 22%増加↑

【取組の結果と評価】

事務所・現場ともに目標値を達成する事ができましたが、現場は昨年度に比べ使用量が22%増加しています。これは工事内容や施工方法（主にダンプ運搬作業の増加）によるものと思われます。

【次年度の取組】

事務所は近場への移動の際、可能な限り徒歩や自転車を使用する事を検討し、運搬作業の多い工事では、状況に応じて運搬計画や作業計画を都度見直し、一層削減できるよう取り組んでいきたいです。

■電力使用量の削減

環境活動計画の取組み項目	事務所
①省エネ型（LED等）蛍光灯への転換	○
②グリーンカーテンの設置	○
③間引き点灯の奨励	○
④節電の啓発	○
⑤エアコンの冷暖房温度設定（夏下限28℃、冬上限20℃）	○
⑥エアコンのコントロールパネルに温度設定シールを取付ける	○

○…取組みを行えた ×…取組みを行えていない /…該当しない

③ 間引き点灯の奨励



事務所 3年間推移グラフ MJ/年



昨年度より5%削減↓



① 省エネ型（LED等）蛍光灯への転換



事務室の蛍光灯は全てLED蛍光灯に交換しました。

② グリーンカーテンの設置



ゴーヤ、朝顔、パッションフルーツ、キュウリを植え、事務所に『ミニ生物多様性』を実現しました♪

④ 節電の啓発



事務所のすべての電源付近には節電ポスターや節電ラベルが張られ、常に節電意識を促すようにしています。

⑤ 冷暖房温度設定

⑥ 温度設定シール取付け



【取組の結果と評価】

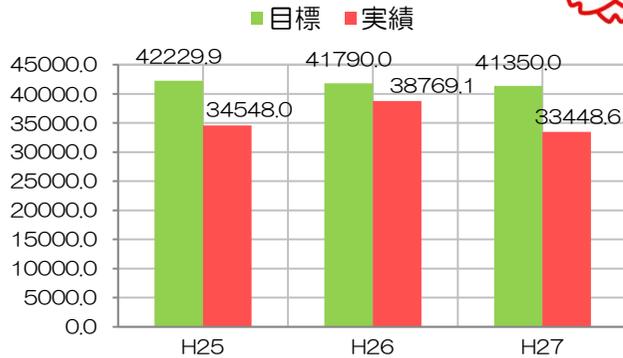
今年度も目標を達成する事ができました。事務室は全ての蛍光灯をLED蛍光灯に転換し、電力使用量を前年度より5%削減する事ができました。

【次年度の取組】

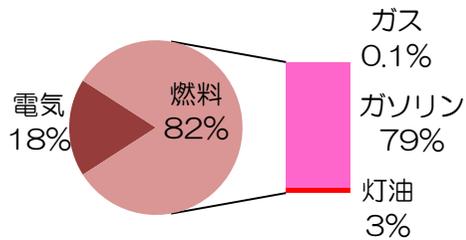
今後は技工室の蛍光灯もLED蛍光灯等の省エネ型に転換を行ってまいります。

■二酸化炭素排出量の削減

事務所 3年間推移グラフ Kg-CO2/年



二酸化炭素排出量 種別内訳



【電気による二酸化炭素排出量】

- ・ 6063.8 kg-CO₂

【燃料による二酸化炭素排出量】

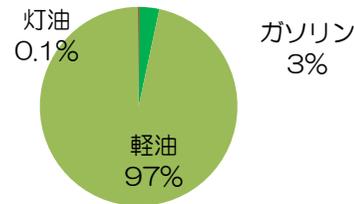
- ・ ガス 18.6 kg-CO₂
- ・ ガソリン 26419.2 kg-CO₂
- ・ 灯油 946.9 kg-CO₂

昨年度より 14%削減 ↓

現場 3年間推移グラフ Kg-CO2/年



二酸化炭素排出量 燃料内訳



【燃料による二酸化炭素排出量】

- ・ ガソリン 5914.2 kg-CO₂
- ・ 軽油 169530.3 kg-CO₂
- ・ 灯油 219.3 kg-CO₂

昨年度より 22%増加 ↑

【取組の結果と評価】

今年度も事務所・現場ともに目標を達成することができました。

事務所の二酸化炭素排出量の内訳は、電気が18%、燃料が82%を占めており、燃料のうちガソリンが79%を占めていました。

現場の二酸化炭素排出量は燃料によるもので、そのうち軽油が97%を占めていました。

事務所は、前年度より14%削減出来ましたが、現場は22%増加しています。

これは、燃料使用量でも挙げたように、工事内容や施工方法（主にダンプ運搬作業の増加）によるものと思われます。

【次年度の取組】

事務所・現場とも燃料の使用量が二酸化炭素排出量の大部分を占めているので、今後は燃料の全体的な目標値の他に、種別ごと（ガス・ガソリン・軽油・灯油）にも目標値の設定を検討していきたいです。

特に現場は運搬作業の多い工事の場合、燃料の使用量が大幅に増加する傾向があるので、施工計画の熟考と状況に応じた施工方法（運搬計画や作業計画）の見直しを行い、より一層の削減ができるよう取り組んでいきたいです。

■水資源使用量の削減取組

環境活動計画の取組み項目	事務所	現場
①雨水の利用	○	○
②節水啓発ポスター	○	/
③節水啓発ラベル	○	/
④水量調整ホース使用	○	/

○…取組みを行えた ×…取組みを行えていない /…該当しない

① 雨水の利用



桶に雨水を溜めて、事務所の植物に水やりや掃除等に使用しています。



現場事務所には、雨どいから雨水タンクに集水し、手洗いに使用しています。

② 節水啓発ポスター



事務所のすべての水元には節水ポスターや節水ラベルが張られ、常に節水意識を促すようにしています。

③ 節水啓発ラベル



④ 水量調節ホース使用

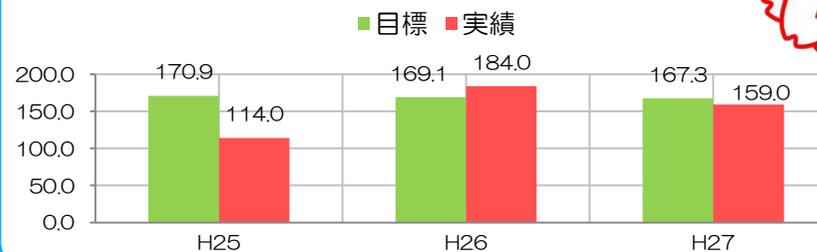


洗車中にもタイヤの状態を確認しています。
【工事部 後藤】



水量調整ホースを使い、洗車を行いました。水量の調節ができるので、洗車しやすく、節水にもなりました。

事務所 3年間推移グラフ m3/年



達成

昨年度より 13%削減↓

【取組の結果と評価】

昨年度は僅かながら目標に及びませんでしたが、細かな節水を徹底し雨水を利用する事で、今年度は目標を達成することができました。水量調整ホースは、本当に使いやすく節水に効果的でした。

【次年度の取組】

今後は、苗木の水やりに雨水を利用した自動散水装置の設置を検討していきたいと思っています。

■ 廃棄物の削減及びリサイクルの推進（一般廃棄物）

環境活動計画の取組み事項	事務所
①封筒の再利用	○
②マイボックス（ゴミ箱）の設置	○
③段ボール等の再利用	○

○…取組みを行えた ×…取組みを行えていない /…該当しない

① 封筒の再利用



印刷ミスや使用済みの封筒を開き、裏返しにして再利用を行いました。

② マイボックス（ゴミ箱）の設置



各自が1日に
出すゴミの量
を認識。

マイボックス(ゴミ箱)のゴミは各自で持ち帰りしています。
また、今年度からビニール袋の代わりに使用済み封筒を使いました。

③ 段ボール等の再利用



段ボールは完成工事の書類入等に再利用を行いました。



ゴミは1袋ずつ
重さを計り記録
しています。

事務所 3年間推移グラフ t/年



昨年度より 6%削減↓

【取組の結果と評価】

今年度も目標を達成する事ができました。
マイボックス（ゴミ箱）は、昨年までゴミ袋を使用していましたが、今年度から使用済み封筒を再利用することで、資源使用の削減やコスト削減にも繋がりました。

【次年度の取組】

今後も廃棄物の削減に取り組みながら、出来る限り資源の再利用を推進していきたいです。

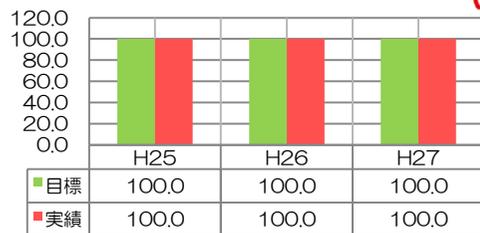


■ 廃棄物の削減及びリサイクルの推進（産業廃棄物）

環境活動計画の取組み項目	現場
廃棄物を同一種類でまとめて処理	○
リサイクル可能な処理業者の選定	○
廃棄物は可能な限り再生利用	○

○…取組みを行えた ×…取組みを行えていない /…該当しない

現場 3年間推移グラフ 年/%



【取組の結果と評価】

今年度も各工事現場で出来る限りの廃棄物の削減やリサイクルの推進を行う事ができました。

【次年度の取組】

産業廃棄物はリサイクル率を向上させる事は勿論ですが、廃棄物を発生させない工法や有効利用する工法等も発注者に積極的に提案し、産業廃棄物の削減とリサイクルの推進を行ってまいります。

<コンクリート殻の処理状況>



工事で発生した産業廃棄物は、工事に産廃処理契約をした処理業者へ運搬し処理しています。コンクリート殻は再生クワッパという再生資材にリサイクルし、工事現場の路盤材や構造物の基礎材・裏込め材として利用しました。

<根株の処理状況>



工事で支障となる立木は伐採して防護柵等に利用し、根株は自走式リサイクル機械を用いて粉碎（チップ加工）し、構造物の埋戻し材・マルチング材として利用しました。

■ 事務所紙資源の削減及びリサイクルの推進

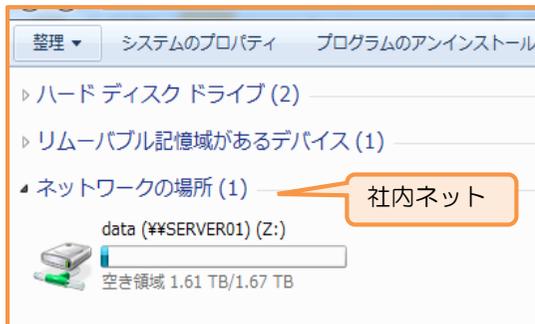
環境活動計画の取組み事項	事務所
①裏紙利用の励行(A1,A3,A4)	○
②節紙の啓発	○
③配付資料の削減(社内ネットの活用)	○
④プリントミスの削減	○

○…取組みを行えた ×…取組みを行えていない /…該当しない

② 節紙の啓発



③ 配付資料の削減(社内ネットの活用)



社内文書は、可能な限り社内ネットワークを活用し節紙を行っています。



A1 サイズ用紙はコピー用紙の裏紙として利用が出来ないため、会議や教育訓練等のメモ用紙として再利用しています。

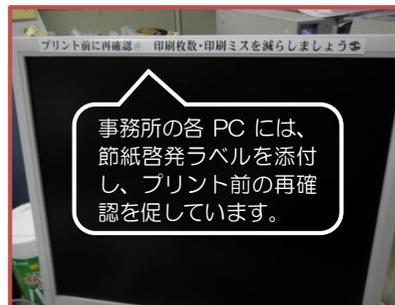
① 裏紙利用の励行(A1、A3、A4)



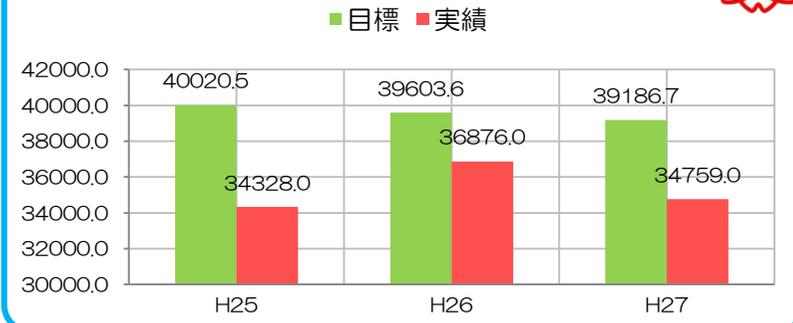
A3・A4 ごとに裏紙ボックスに分類し、コピー用紙やメモ用紙に再利用しています。



④ プリントミスの削減



事務所 3年間推移グラフ 枚/年



昨年度より 6%削減↓

【取組の結果と評価】

今年度も目標を達成する事ができました。

A4・A3 用紙の再利用だけでなく、A1 サイズ用紙の有効利用を行う事が出来ました。

【次年度の取組】

今後は会議や環境教育にタブレットやプロジェクターを用いる事も検討して、可能な限りペーパーレス化を推進していきたいです。

■ 事務所周辺の清掃及び地域貢献活動の推進

環境活動計画の取組み事項	事務所	現場
①ウィークリー活動を年48回実施	○	○
②植樹活動を年1回実施	○	/
③ごみゼロキャンペーンを年1回実施	○	/
④ロードアドプト事業を年4回実施	/	○
⑤道路維持管理を適時実施	/	○

① ウィークリー活動

ウィークリーとは、We clean と Week clean を掛け合わせた弊社独自の造語で、毎週水曜日に事務所周辺の清掃活動（掃き掃除、草抜き、ゴミ拾い等）を実施しています。



那賀町木頭出原



那賀町木頭出原



那賀町木頭折宇



那賀町木頭和無田

② 植樹活動

前年度に引き続き、地元小中学校の生徒達とともに10本の山櫻を校庭に植樹しました。また、林道にも地元有志の方々とともに50本の山櫻を植樹しました。



校庭植樹



林道植樹



③ ごみゼロキャンペーン

毎年5月には、ごみゼロキャンペーンを実施しています。今年度は7名が参加して国道195号線沿い約2kmの範囲でごみ拾い等の清掃活動を行いました。



こうした活動のお蔭で道路が綺麗に保たれて私達は安心して道路を走る事ができます。参加くださった皆様お疲れ様でした。

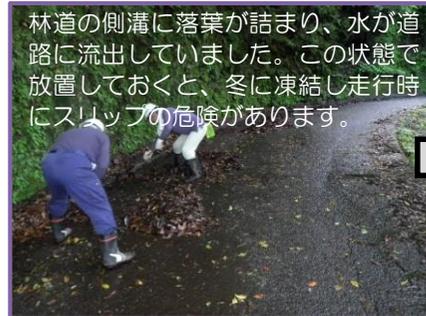
④ ロードアドプト

今年度も年4回、総勢22名が参加して国道195号線の清掃、ゴミ拾い等を中心に活動を行いました。



⑤ 道路維持管理

林道の側溝に落葉が詰まり、水が道路に流出していました。この状態で放置しておくと、冬に凍結し走行時にスリップの危険があります。



落ち葉を除去して水路の機能を復旧

トンネルの出入口付近に大きな窪みがありました。林道でバンクすると大変です。



小石と砂利を充填し応急処置

事務所 3年間推移グラフ 回/年



昨年度より 283%アップ↑



現場 3年間推移グラフ 回/年



昨年度より 294%アップ↑



【取組の結果と評価】

今年度は、事務所・現場ともに目標値を大幅に上方修正しましたが、従業員の努力と地域の有志の方々のご協力により、目標値を更に越えて達成する事ができました。

【次年度の取組】

植樹の際は、より多くの地域の方々とともに活動できるよう、事前に周知をするなどしていきたいです。

■グリーン購入の推進

環境活動計画の取組み項目	事務所
エコラベル商品の購入	○

○…取組みを行えた ×…取組みを行えていない /…該当しない

今年度は、間伐材、エコマーク、グリーン購入法適合商品、GPNの4種目エコラベル商品を購入しました。

間伐材

名刺用紙



エコマーク商品

チューブファイル(エコツイン)
ネームランド用テープカートリッジ等



グリーン購入法適合商品

チューブファイル
インクカートリッジ
トイレトーパー
カラーインデックス
図面クリヤーホルダー
PPフラットファイル
アラビックヤマト 等

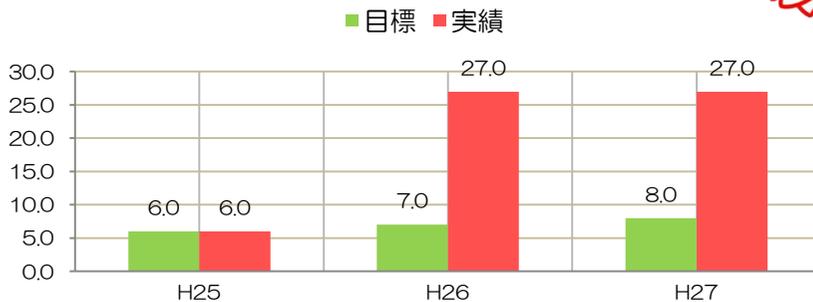


GPN DB掲載

オフィスペーパー
両開きパイプ式ファイルV
保存袋
再生クリヤーポケット
フラットファイル (NS)
賞状額縁
ふせん 等



事務所 3年間推移グラフ 品/年



達成

【取組の結果と評価】

今年度も4種目27品目を購入し、目標を大幅に越える事ができました。特に名刺制作を自社で行うようにした事で、納期の短縮やコスト削減にも繋げる事が出来ました。

【次年度の取組】

社員から名刺のデザインやアイデアを募集し、社員それぞれの個性溢れる名刺を制作するなどして、今後も楽しみながらグリーン購入を推進していきたいと思えます。

■環境配慮商品・サービスの提供並びに施工の推進



山櫻の間伐材等を調達しお箸を制作。売り上げの一部を山櫻プロジェクト（植樹活動等）に使用し、ご購入頂いた方も環境活動に貢献できる仕組みにしています。



各工事で低排出ガス対策の重機を使用



現場事務所に油流出時処理BOXを設置



河川掘削時におけるバイオグリスの使用



舗装切断時における粉塵の回収（乾式型使用）



山櫻プロジェクトPR旗環境配慮施工推進旗設置



各工事の工事掲示板に県産木材を使用



カラーコーンに太陽光LEDデリネーター使用



水路型枠材等に県産木材を使用



山腹崩壊斜面に耐候性土嚢を使用



掘削粉塵・飛散対策にブルーシートを使用

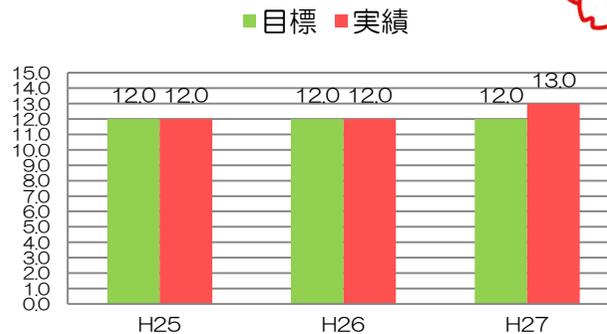


現場で発生した丸太材を防護柵のクッション材に使用



掘削法面に環境型植生シートを使用

現場 3年間推移グラフ 件/年



【取組の結果と評価】

今年度も目標を達成する事ができました。特に今年度からは山櫻プロジェクトのPR商品として、山櫻の間伐材で制作したお箸の販売を開始し、当初売り上げ目標の2倍以上を売り上げる事が出来ました。

【次年度の取組】

今後も従業員から積極的に意見を取り入れ、各工事現場に反映していきたいです。また、山櫻のお箸は材料が貴重である為、今後は限定商品とし、他の間伐材利用した新商品の開発にも努めていきたいと思っております。

■山櫻プロジェクトの推進

～山櫻プロジェクトとは～

里山の原風景を彩るサクラ... 春になればその美しい花色と味わい深い立ち姿で、私たちの目と心を楽しませてくれます。その中でも、とりわけ私たち日本人と馴染みの深いヤマザクラが、ここ那賀町木頭においても近年減少傾向にあり、その存続を危惧されつつあります。私たちはこのヤマザクラを『山櫻』と称し、町内産山櫻の実生から育成した苗木を地域の林地等に植樹する事で、その保全（生物多様性への配慮）と、CO2の吸収・固定（低炭素化社会の推進）を同時に図りながら、地域に山櫻の名所を誕生させていく活動を行っています。また、植樹活動等を架けはしとして、地域の様々なコミュニティと共同活動を展開し、那賀町木頭地域の振興に向けた地域ネットワークの醸成に寄与する事を目指しております。



昨年から保存していた山櫻の種を撒き、2～3cmほどに成長した苗をコンテナに植え替えました。また、挿し木からの生育にも挑戦しており、少数ですが蕾がつかしました。

林道トゴエ久多利線 (イノクボ)



【観光名所の創生】

那賀町木頭の林道トゴエ久多利線（通称イノクボ）において、2015年より山櫻の植樹を行い、山櫻の観光名所の創生に取り組んでおります。長期に渡る壮大な計画ですが、生物多様性とふるさとの振興に少しでも貢献できるよう、先人と私達、そして子孫へと意志を繋ぎ完成させたいと思います。

【環境教育】

地元の中3年生に環境教育も兼ねて山櫻のお箸の制作体験を行いました。長時間のイベントになりましたが、生徒達は最後まで熱心に取り組み、沢山の個性溢れるお箸が完成しました。また、地元の地域おこし協力隊や沢山の先生方もご参加くださり、とても有意義な一日を過ごす事ができました。



【地域コミュニティとの繋がり】

地域特産の拝宮和紙に山櫻を刷り込ませた箸袋と山櫻のお箸を地元老人会の長寿（米寿）の祝いを迎えられる方々に、記念品として進呈させて頂きました。



■コミュニケーション

【事務所】 エコアクション21コーナーの設置



事務所正面入り口付近にE A 21コーナーを設置し、レポートやパンフレット等、様々な環境関係の情報を掲示・公開し、誰でも閲覧や持ち帰りができるようにしております。コミュニケーションボックスは従業員からの声を集めEA21 推進会議に反映しています。また、今年度からLINEを取り入れた事で、これまでより早く正確な情報共有が出来るようになりました。

【現場】 コミュニケーションボックスの設置



各工事現場には、外部用コミュニケーションボックスを設置し、工事情報やアンケート用紙等を備え付けています。また、レポートやEA21のパンフレットを、地元の役場や学校にも配布し、PRも行っております。

ホームページの活用



フェイスブックの活用



昨年のホームページ開設に引き続き、フェイスブックも開設しました。

タイムラインの活用により、国道の通行止めや災害等の情報をいち早く外部に周知できるようになりました。

また、山桜プロジェクト等の活動についても詳細を載せていますので、是非一度弊社のホームページとフェイスブックにお立ち寄り下さい。
m(_)_m

<http://www.hiromagumi.co.jp>

<https://www.facebook.com/hiromagumi>

■環境教育・緊急訓練等

今年度も環境教育計画に基づき環境教育・緊急時訓練を実施する事ができました。

【環境教育】



地元の文化会館を活用し、環境経営や一般的教育・法規制等について環境教育を行いました。

【消火訓練】



事務所と各現場事務所には消火器を設置しています。今年度も古くなった消火器を使って初期消火訓練を行いました。従業員の多くが地元消防団に所属しており、全員の手際が良かったため、滞りなく訓練を実施する事ができました。

【AED訓練】



那賀町消防職員の方を講師に招き、AEDを使用した緊急時の救命措置の使用方法について体験を行いました。

【油流出訓練】



現場事務所には、油流出時における緊急セットを備えています。訓練では道路に流出した油に吸着マットとACライト（セラミック材）を散布して、吸着の効果や手順等の確認を行いました。

■表彰等

👑 環境コミュニケーション大賞 👑



第19回環境コミュニケーション大賞【環境活動レポート部門】において、優秀賞を受賞しました。第17回に続き2度目の受賞となりました。

👑 とくしま環境県民会議表彰 👑



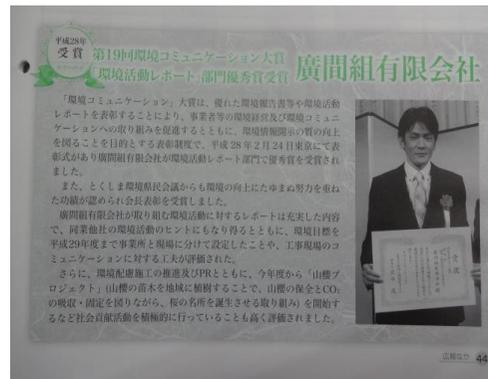
とくしま環境県民会議表彰を受賞しました。

建通新聞



建通新聞(徳島版) や那賀町広報誌『広報なか』においても、環境コミュニケーション大賞の受賞について紹介されました。

広報なか



徳島新聞



徳島新聞には、山桜プロジェクトの取り組みや活動について、紹介されました。

環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規制等への違反はありません。

また、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありません。

適用される法規制	適用される項目	評価
■環境基本法	■自然環境の保全措置	○
■グリーン購入法	■環境物品購入	○
■地球温暖化対策推進に関する法律	■温室効果ガスの排出の抑制	○
■環境配慮事業促進法	■事業活動に係る環境情報の提供	○
■産業廃棄物	■委託契約、許可証の確認、マニフェストの保存義務	○
■一般廃棄物	■ゴミの分別排出。野外焼却の禁止	○
■建設リサイクル法	■分別解体、再資源化の促進	○
■特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）	■特定家庭用機器の適正処分	○
■浄化槽法	■浄化槽の処理後でなければ公共用水域に排水禁止	○
■大気汚染防止法	■機関事に期日を守り、書類を届出。	○
■オフロード法	■基準適合機械の使用	○
■騒音規制法 ■振動規制法	■作業敷地境界(騒音)85db以下(振動)75db以下 (ただし作業時間、期間の規定あり)	○
■特記仕様書	■特記仕様書に準ずる。	○
■徳島県地球温暖化対策推進条例 ■徳島県生活環境保全条例	■生活環境への負荷の低減・自動車の使用における配慮	○
■那賀町廃棄物の処理及び清掃に関する条例	■一般廃棄物の分別。	○
■那賀町景観条例	■良好な景観の形成に寄与・施策に協力	○

代表者による全体評価と見直しの結果

対象	変更の有無	評価
環境方針	<input type="checkbox"/> 有 / <input checked="" type="checkbox"/> 無	今後も環境方針を基軸に取組みを行う。しかし、目標はあくまで目標であり、達成できたとしても『常に今が最低』という高い意識で臨み取り組んでいかなければならない。また、あまり数値目標だけにとらわれ過ぎず、『何の為にやっているのか…?』という本来の目的を見失わないよう、常に基本理念に立ち返り、初心を忘れずより良い環境経営を目指すようにする。
計目標	<input checked="" type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無	グリーン購入の推進については、品目数で目標値を大きく上回っており、対象となる商品の数も多いので、次年度からは目標値を品目数から種目数（年間4種目以上）に変更する。
その他	<input type="checkbox"/> 有 / <input checked="" type="checkbox"/> 無	フェイスブックやホームページは外部からも好評を頂いており、企業コミュニケーションをテーマとした講演の題材としても取り上げられている。今後も随時更新を行い、コミュニケーションツールとして最大限活用する。

代表者全体総括

今年度は、事務所・現場ともに全項目において目標を達成する事が出来た。また、前年度に比べ多くの項目で使用量や削減量がアップしている事は特に評価でき、一年をとおして社員一丸となって取り組んだ結果である。

次年度は、新規事業の山櫻プロジェクトを基軸に弊社ならではの方法で、低炭素化社会・生物多様性・循環型社会の実現に少しでも貢献できるよう様々な活動を展開していきたい。また、前年度同様に循環型社会の実現に向けた具体的な活動にも取り組んでいけるようにし、事業者としての責任、地方企業の役割を果たしながら、徳島県の環境経営先進企業としての誇りを持って、人・地域・地球という私たちの恩人に少しでも恩返しができるよう、今後も初心を忘れず活動を推進していきたい。



廣間組有限会社
代表取締役 西田静男

おわりに…

木頭杉 KITOHSUGI



この杉是那賀町木頭の八幡神社にあり、樹高約 50m、幹回り約 6m、樹齢数百年の大木です。

豊かな大地にしっかり根を張ることで、近代の構造物より大きく長く生きています。

そして毎日ずっと、私達人間が生きていくうえで欠かせない酸素を作り続けてくれています。

雨が降ろうと、風が吹こうと、雪が降ろうと、何があろうと、誰にたいしても、です。

己の役割を、この大木は毎日寡黙に粛々と全うしています。

私達は、自然の果たす営みを、ただ当たり前前の事と思うのではなく

自然の生き様にもっと目を向け、色んな事を学んでいかなければいけない、そんな気がします。